









阿良御嶽

古昔「阿良の湯」に面した、このお嶽は、「タツカサシ」と「サラメキカサシ」という二神を祀っていて、昔から林の仕舞の無事安全を祈願する拝所として知られています。

タツカサシとは、津波しるす時立つたままで林も神、サラメキカサシとは、赤もサラサラと笑う神のことといわれています。

このお嶽は大和津に行かぬや赤津に坐するまにこつても忘れられない所である、ゆめの時を赤きも降りたら海女たにも人々と一緒に静にお話をしなげはならない所であった、はきも降りもお嶽の神女が林をもちて津波安全を無事のアンジュカサシを誂った。

また、ゆめ津大塚安全文庫によつたら伝説の地でもある。

伊予村歴史文化財
昭和五十二年十二月十四日竣工















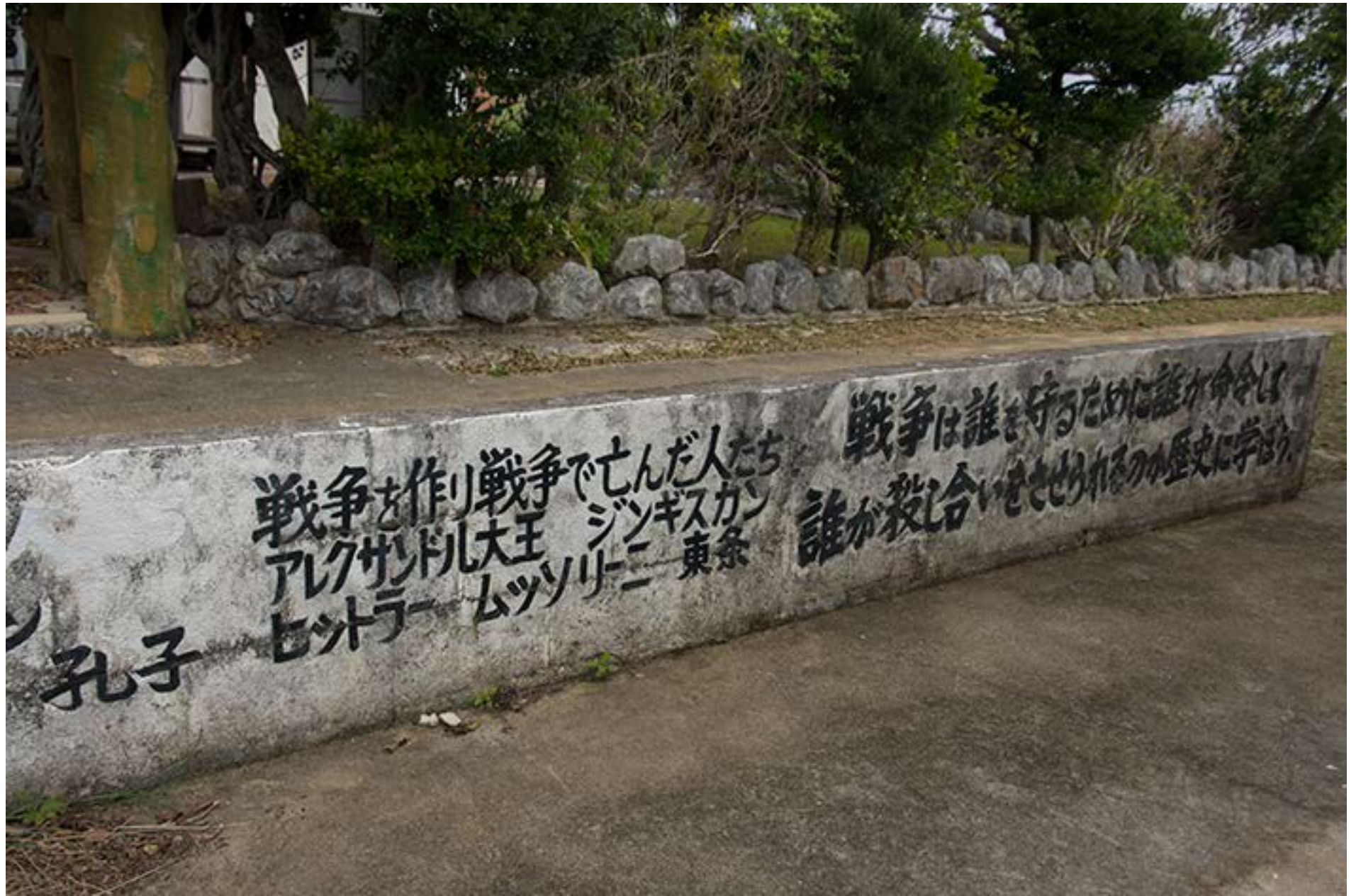












島規規正

一米軍と対峙する時は、よく大

中、何も持たないで座して話すこと

一決して短気をおこしたり

相手の悪口を言わないこと

一いざいざのつわりのいふことを言わないこと

一希命布告にみまらぬ道理と誠意をきいて話す

一沖縄人同志は如何なることがあっても

決してケンカをしないこと

一私たちは挑発に乗らないためこころいも

常にこの規定を守りませう

伊江島土地を守る会

一九七〇年六月



伊江島土地を守る会

米軍に告ぐ

「土地を返せ」は私たちの国
私たちの村私たちの土地だ

「侵略者伊藤博文東條の罪劇に笑え

汝らは愛する家族が

米本国で待っている

「聖なる農民の忠告を聞け

さらば米国は永遠に栄え

汝らは幸福に生きのびん

。剣ささる者剣にて亡ぶ(聖書)

。基地を持つ国は基地にて亡ぶ(歴史)

一九五五年五月

伊江島土地を守る会

演習地を直ちに撤去せよ!

再び戦争の犠牲になるな!

伊江島には核
爆弾の演習基地

戻ってくる

どう人間。瞞し合いではなく教え合う人間。それら人間が平和を作る



















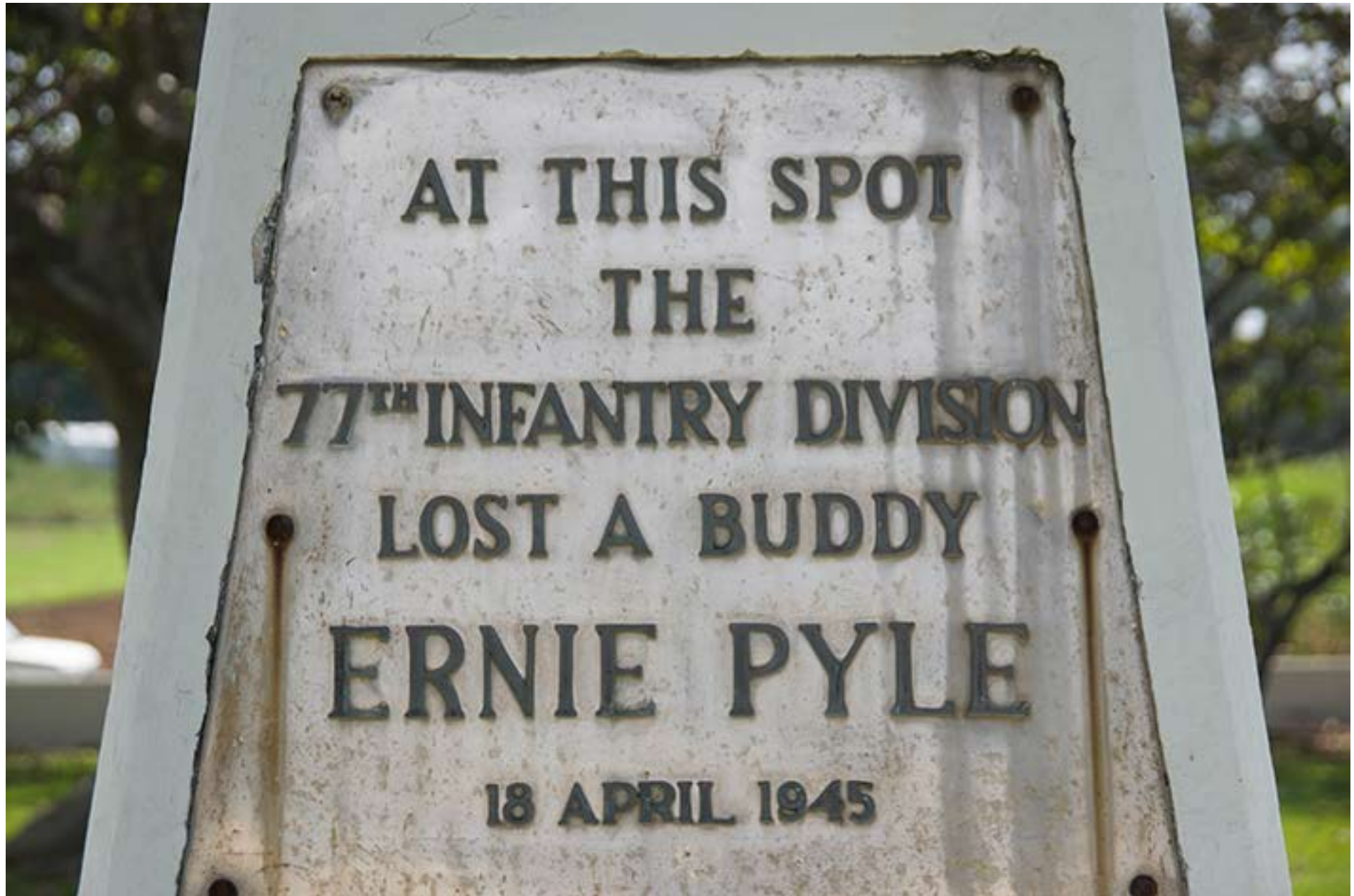




伝説の地ニヤテイヤ
ここには古来から子授
け神として崇められてい
る「ビジル石」がある。その石
を持ち上げ軽いと感じられ
ば女の子、重いと感じたら
男の子だと言ひ伝えられ
ている。毎年旧暦三月には
ノロ(女神)による三月ニヤ
テイヤ祭りがある。
又戦時中は村民の避難所
に利用され優に千人は入
れるということから千人
洞」ともいわれている。







AT THIS SPOT
THE
77TH INFANTRY DIVISION
LOST A BUDDY
ERNIE PYLE
18 APRIL 1945





村指定史跡 公益質屋跡

この建物は昭和四年十二月に建てられたものである。

公益事業は個人高利貸の暴利に泣く村民を救う村の唯一の福祉事業で利用者から質草を受け低利により融資を行いその更生をはかった。

第二次世界大戦の悲惨な攻撃を受け村内にある建物はことごとく焼き拂われたが、かろうじて原形を保っているのはこの建物のみである。

補修工事 昭和六〇年三月







